

バトルズ マフラー-ZS-S 取付要領書

車名：トライトン LC2T系 | 年式：24.02- | 適合：ALL |

このたびは、ジャオスの商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は「バトルズ マフラー-ZS-S」の取り付けについて記載してあります。

商品を取り付けるまえに必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

商品の取り付けには危険を伴う場合がございますので、専門知識を有する自動車用品販売店
または自動車整備工場での取り付けを推奨します。



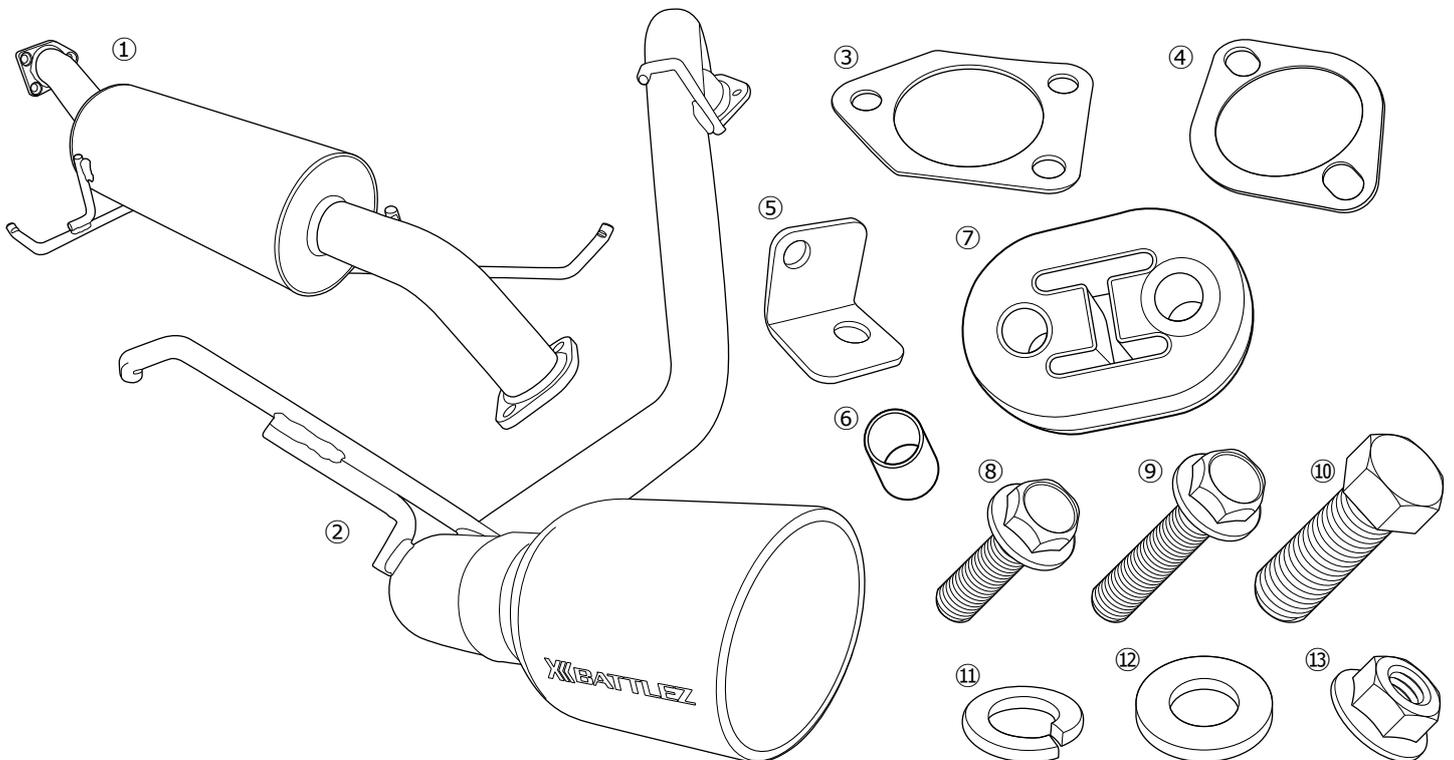
商品の取り付け完了後、本書を必ずお客さまにお渡しください。



取付参考時間：約1.0時間

構成部品

※商品を取り付けるまえに商品の状態（破損や故障）と付属品の有無をご確認ください



■ 取り付けに必要な工具

一般工具 トルクレンチ 軍手 保護シート 保護テープ 養生テープ マスキングテープ

No.	品名	数量	No.	品名	数量
①	バトルズマフラー（センターピース）	1	⑧	フランジ付きボルトA（M10×35）	2
②	バトルズマフラー（リヤピース）	1	⑨	フランジ付きボルトB（M10×40）	1
③	ガスケットA	1	⑩	六角ボルト（M12）	1
④	ガスケットB	1	⑪	スプリングワッシャー（M12）	1
⑤	ブラケット	1	⑫	ワッシャー（M12）	1
⑥	カラー	1	⑬	フランジ付きナット	6
⑦	マフラーサポート	1			

取り扱い上のご注意

この取付要領書で使用している表示の意味と内容

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります

取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ●取付要領書を必ずお読みください。

安全に作業を行うために

-  **注意** ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
- 製品は丁寧に扱ってください。
- 作業に適した服装で作業を行ってください。

取り付けについて

-  **警告** ●必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
-  **注意** ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

使用上の注意事項

-  **警告** ●設計荷重の範囲内で使用してください。
-  **注意** ●定期的な点検を行ってください。
- 薬品などの付着に注意してください。
- 路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
- 商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対する回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
- 商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ●商品の破棄は専門家に相談してください。

保証について

- 初期不良の保証…お届けから1週間以内
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- 製品保証…弊社オリジナル商品をご購入より1年間 ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 www.jaos.co.jp/support/policy ▶



取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー ●数字は作業の順番を示しています

1. 純正部品の取り外し

□車両から純正マフラーを取り外します。

! **注意** 走行後のマフラーは高温になっているため、完全に冷めたことを確かめてから作業を行ってください。

! **アドバイス** 純正部品の取り外しは、車両の技術マニュアルに従い作業を行ってください。

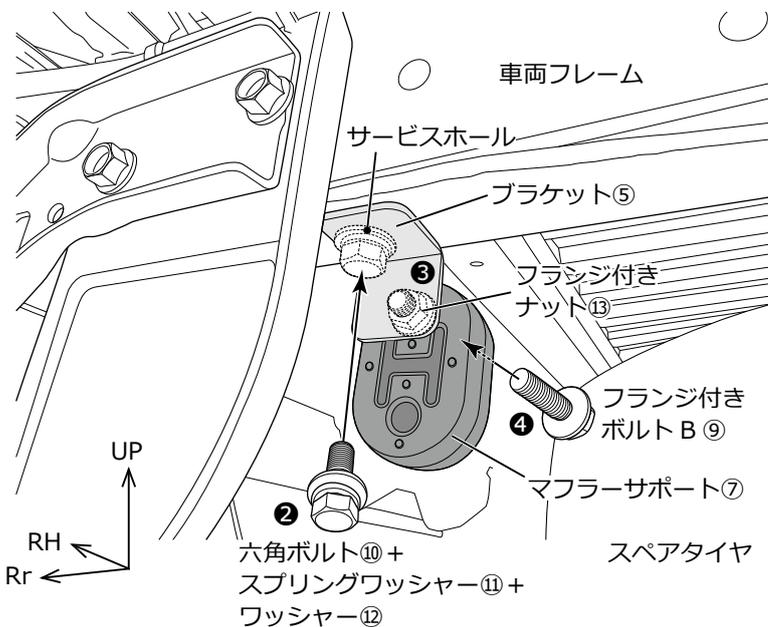
取り付け作業は2名以上で行うことを推奨します。

純正ボルトが外しにくい場合は、潤滑油を注入し浸透させると外しやすくなります。

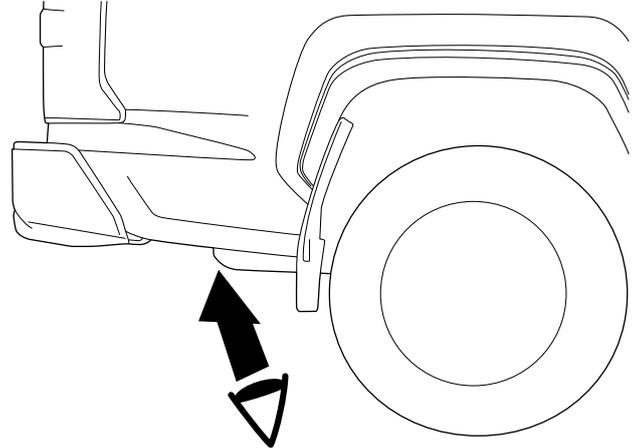
□取り外した純正マフラーサポートは再使用します。

! **注意** マフラーフックが外しにくい場合はマフラーサポートに潤滑油を注入し、マフラーハンガープライヤーなどを使用すると容易に外すことができます。

マフラーサポートが劣化している場合は、必ず新しい物と交換してください。

2. バトルズマフラーの取り付け準備

視点 (右側後方)



□マフラーサポート⑦の穴にカラー⑥を差し込みます (①)。

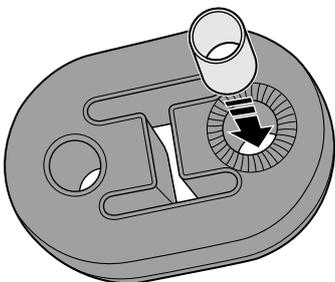
□六角ボルト⑩にスプリングワッシャー⑪とワッシャー⑫を組み合わせます (②)。

□車両フレームのサービスホール (ナット溶接部) にあわせてブラケット⑤を図のように配置し、六角ボルト⑩でブラケット⑤を車両フレームに仮固定します (③)。

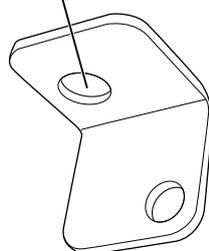
! **アドバイス** 仮締め (仮組み・仮固定) とは止めている物をほぼ固定し、少し調整できる程度の状態です。

□マフラーサポート⑦を図のように配置し、車両内側からフランジ付きボルトB⑨を差し込み、外側からフランジ付きナット③を組み付け仮組みします (④)。

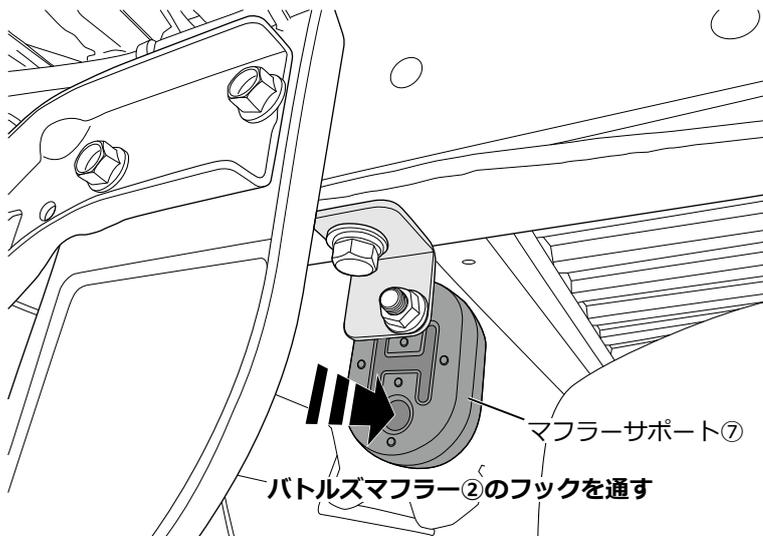
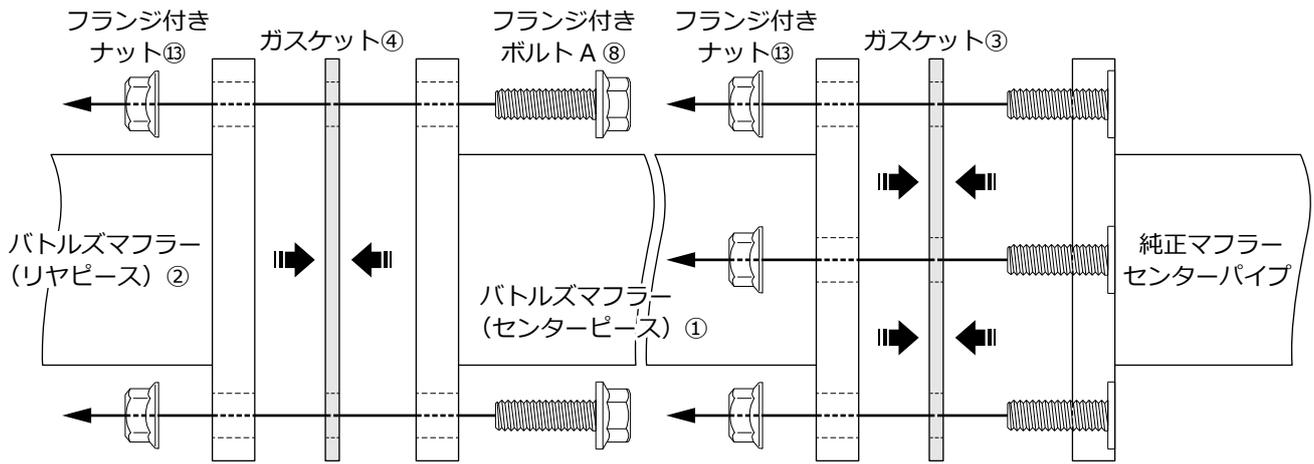
①マフラーサポート⑦の穴にカラー⑥を差し込む



ブラケット⑤は車両フレーム固定側の穴径が大きい

**!** **注意**

取り付けるまえに必ずカラー⑥を差し込む

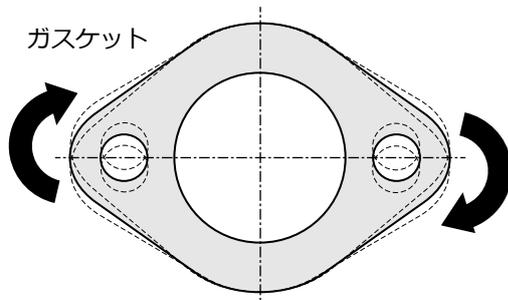


- 純正マフラーと同じようにバトルズマフラー①を配置し、純正マフラーサポートにフックを通してつるします。
- 純正マフラーのセンターパイプとバトルズマフラー①のあいだにガスケット③をはさみ、フランジ付きナット⑬を使用して仮組みします。

⚠ 注意 マフラー取り付け時にマフラー本体や車両にキズが付く可能性がある場合は、周辺の保護をしてから作業を行ってください。

- 純正マフラーと同じようにバトルズマフラー②を配置し、純正マフラーサポートとマフラーサポート⑦にフックを通してつるします。
- 純正マフラーのセンターパイプとバトルズマフラー①のあいだにガスケット③をはさみ、フランジ付きボルトA⑧とフランジ付きナット⑬を使用して仮組みします。

⚠ 注意 テールパイプ脱着時に潤滑剤を使用した場合、取り付けまえに清掃を行い油分を確実に取り除いてください。



バランスを整える

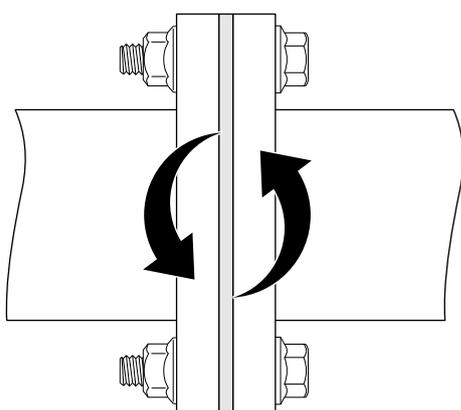
- バトルズマフラー②の取り付け状態を車両後方と側面から見て、車体と出口部の位置を整えます。
- 全体の取り付け状態（バランスやボルトの組み付け）を確かめ、仮締め部を本締めします。

【ブラケット⑤、マフラーサポート⑦】

六角ボルト⑩締め付けトルク [40~50 N・m]
 フランジ付きボルトB⑨締め付けトルク [40~50 N・m]
 ※カラー⑥が変形しない程度に調整してください。

【マフラーフランジ部】

フランジ付きボルトA⑧締め付けトルク [40~50 N・m]
 ※フランジ付きナット⑬の締め付けトルクは車両の技術マニュアルに従ってください。



交互にバランスよく締め付ける

⚠ 注意 ボルトの締め付けは必ず交互に行ってください。締め付けのバランスが悪い場合、マフラーテールが車両に接触したり、密着不良による排気漏れの原因となります。

取り付け状態の確認



注意

- 作業完了後は必ず取り付け確認を行ってください。ボルト類の締め忘れにより本体が脱落するおそれがあります。思わぬ事故や故障の原因になる可能性があります。
- 取り付け完了後マフラーを揺さぶり、各部の干渉がないことを確かめてください。
- エンジンを始動しアイドル回転が安定したら回転数を「2000rpm～2500rpm」に上げ、各フランジ部から排気ガスが漏れていたり異音がないことを確かめてください。
- 試運転を行い、もう一度排気ガスが漏れていたり異音がないことを確かめてください。
- 不具合があった場合はいったん製品を取り外し各部に異常がないことを確かめ、はじめから取り付けをやり直してください。

取り付け完了後の点検と注意事項



注意

- 取り付け直後の走行時に異臭が発生する場合があります。いつまでも異臭がするときは専門の整備工場での点検を受けてください。思わぬ事故や故障の原因になる可能性があります。
- 本商品の取り付けによりエンジン回転のフィーリングが変化する場合があります。慣れるまではエンジンの回転数に注意しながら走行してください。
- 商品の取り付け後は定期的に固定部のゆるみやがたつきを点検し、安全な取り付け状態を確かめてください。
- 走行中に異音や振動など不具合が発生した場合は、ただちに車を安全な場所に停車し、専門の整備工場での点検を受けてください。思わぬ事故や故障の原因になる可能性があります。
- 本商品を加工したり誤った使用による不具合・事故などについては、いっさい責任を負いません。